平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場会社名　オイレス工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6282　URL　http://www.oiles.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 岡山　俊雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　常務執行役員 企画管理本部長　(氏名) 内田　隆彦　TEL 0466-44-4901

四半期報告書提出予定日　平成24年11月9日　配当支払開始予定日　平成24年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	26,677	7.6	2,652	28.3	2,767	30.8	1,697	37.1
24年3月期第2四半期	24,794	2.8	2,068	△22.1	2,115	△19.7	1,238	△1.9

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　1,532百万円　(39.8%)　24年3月期第2四半期　1,095百万円　(45.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	57.63	―
24年3月期第2四半期	40.65	―

(注)潜在株式が存在しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	62,413	50,634	79.6	1,686.53
24年3月期	62,149	49,860	78.8	1,661.09

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　49,694百万円　24年3月期　48,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	15.00	―	25.00	40.00
25年3月期	―	20.00			
25年3月期(予想)			―	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,300	4.5	5,420	16.1	5,720	16.3	3,380	14.3	115.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有
※平成24年11月8日から平成25年2月28日の間に100万株もしくは18億円を上限とした自己株式の取得を行う予定であります。上記、1株当たり当期純利益はこれを考慮して計算しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	31,917,088 株	24年3月期	31,917,088 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,451,343 株	24年3月期	2,451,193 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	29,465,831 株	24年3月期2Q	30,466,343 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 2
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 2
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（６）セグメント情報等 …… 8
（７）重要な後発事象 …… 9
４．補足情報 …… 10
（１）受注及び販売の状況 …… 10
（２）地域ごとの売上高 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における我が国経済は、自動車業界など一部の企業収益が持ち直しの動きを示し、景気は回復の兆しが見られましたが、長期化する欧州債務危機問題や新興国の成長鈍化を背景に海外経済が減速しつつあり、弱含みで推移してまいりました。

このような環境にあって、軸受機器事業につきましては、一般産業機械向け製品は円高の長期化や世界経済の低迷による輸出停滞の影響を受け厳しい状況がつづいておりますが、一方、自動車向け製品は自動車生産が国内外で増加したことにより売上高・利益共に増加し、前年同期比で増収増益となりました。

構造機器事業につきましては、建物向け製品は大型物件の着工件数に回復の兆しがあるものの、橋梁向け製品は新設橋梁が少なく売上高は減少となり、前年同期比で減収減益となりました。

建築機器事業につきましては、ウィンドーオペレーター新規物件の受注が好調であることに加え、エコレーター大型物件が寄与したことにより、前年同期比で増収増益となりました。

これらの結果、グループ全体での売上高は266億7千7百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は26億5千2百万円（前年同期比28.3%増）、経常利益は27億6千7百万円（前年同期比30.8%増）、四半期純利益は16億9千7百万円（前年同期比37.1%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ、総資産は2億6千3百万円増加、負債は5億1千万円減少、純資産は7億7千4百万円増加したため、自己資本比率は0.8ポイント増加して79.6%となりました。

資産の増減の主なものは、流動資産では現金及び預金が15億3千8百万円増加、受取手形及び売掛金が11億9千7百万円減少、商品及び製品が4億6千1百万円増加、固定資産では有形固定資産全体で5億7千7百万円増加、無形固定資産が2億5千万円増加、投資有価証券が15億9千4百万円減少しております。

負債の増減の主なものは、流動負債で支払手形及び買掛金の2億4千1百万円の減少、未払法人税等の3億2千2百万円の減少であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

軸受機器事業につきましては、顧客視点を第一に、グローバル市場への展開を推進してまいります。自動車向け製品につきましては、新規採用及び海外のローカルメーカーへの販売拡大、一般産業機械向け製品につきましては、社会インフラ設備に関連する物件の受注拡大により、売上高及び利益の拡大に努めてまいります。

構造機器事業につきましては、橋梁、建物の市場要求に確実に対応していくとともに、免震・制振製品をBCP関連分野の新規領域開拓につなげることにより売上高の増加を図り、且つ、一層のコスト低減に取組み、収益力の強化に努めてまいります。

建築機器事業につきましては、引き続きウィンドーオペレーターの新規及びリニューアル物件の受注拡大に努めます。また、ビル向けエコシリーズのスペックイン活動強化及び住宅向けブラインドシャッターの認知度を高め、受注につなげることにより、売上高と利益の拡大に努めてまいります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,059	12,598
受取手形及び売掛金	16,736	15,539
有価証券	1,285	1,286
商品及び製品	2,947	3,408
仕掛品	2,482	2,497
原材料及び貯蔵品	1,502	1,518
その他	1,464	1,463
貸倒引当金	△148	△105
流動資産合計	37,331	38,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,123	6,060
機械及び装置（純額）	3,686	3,838
土地	3,697	3,699
その他（純額）	1,374	1,861
有形固定資産合計	14,882	15,459
無形固定資産	863	1,113
投資その他の資産		
投資有価証券	7,258	5,663
その他	1,907	2,028
貸倒引当金	△93	△59
投資その他の資産合計	9,072	7,632
固定資産合計	24,818	24,205
資産合計	62,149	62,413

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,444	6,203
短期借入金	0	―
未払法人税等	1,170	848
賞与引当金	1,021	1,026
役員賞与引当金	114	59
その他	2,459	2,553
流動負債合計	11,210	10,691
固定負債		
長期借入金	0	―
退職給付引当金	289	307
役員退職慰労引当金	80	83
その他	707	695
固定負債合計	1,078	1,086
負債合計	12,288	11,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,585	8,585
資本剰余金	9,474	9,474
利益剰余金	34,922	35,883
自己株式	△3,520	△3,521
株主資本合計	49,461	50,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	681	469
為替換算調整勘定	△1,196	△1,196
その他の包括利益累計額合計	△515	△727
少数株主持分	914	939
純資産合計	49,860	50,634
負債純資産合計	62,149	62,413

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	24,794	26,677
売上原価	16,355	17,332
売上総利益	8,438	9,345
販売費及び一般管理費	6,370	6,692
営業利益	2,068	2,652
営業外収益		
受取利息	14	16
受取配当金	75	56
貸倒引当金戻入額	8	55
その他	97	106
営業外収益合計	196	234
営業外費用		
支払利息	1	0
売上割引	7	5
為替差損	131	100
その他	9	13
営業外費用合計	149	119
経常利益	2,115	2,767
特別利益		
受取和解金	81	－
特別利益合計	81	－
特別損失		
固定資産処分損	12	11
投資有価証券評価損	91	19
特別損失合計	104	30
税金等調整前四半期純利益	2,091	2,736
法人税等	812	995
少数株主損益調整前四半期純利益	1,279	1,741
少数株主利益	41	43
四半期純利益	1,238	1,697

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,279	1,741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△254	△215
為替換算調整勘定	71	6
その他の包括利益合計	△183	△208
四半期包括利益	1,095	1,532
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,065	1,485
少数株主に係る四半期包括利益	29	46

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,091	2,736
減価償却費	1,067	1,061
負ののれん償却額	△0	―
貸倒引当金の増減額（△は減少）	0	△76
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△8	19
受取利息及び受取配当金	△90	△72
支払利息	1	0
固定資産処分損益（△は益）	12	11
投資有価証券評価損益（△は益）	91	19
受取和解金	△81	―
売上債権の増減額（△は増加）	2,256	1,209
たな卸資産の増減額（△は増加）	△279	△469
仕入債務の増減額（△は減少）	△687	△247
その他	△157	△146
小計	4,217	4,044
利息及び配当金の受取額	90	93
利息の支払額	△1	―
和解金の受取額	57	―
法人税等の支払額	△2,140	△1,237
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,223	2,900
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,119	△1,526
有形固定資産の売却による収入	5	6
無形固定資産の取得による支出	△270	△222
投資有価証券の取得による支出	△7	△8
投資有価証券の売却による収入	0	―
投資有価証券の償還による収入	―	1,300
定期預金の預入による支出	△6	△6
定期預金の払戻による収入	3	―
貸付金の回収による収入	1	1
保険積立金の解約による収入	3	―
その他	△80	△102
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,469	△557
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△0	△0
配当金の支払額	△608	△735
少数株主への配当金の支払額	△7	△21
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△25	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△642	△783
現金及び現金同等物に係る換算差額	25	△27
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	136	1,532
現金及び現金同等物の期首残高	13,319	12,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,456	13,813

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	軸受機器	構造機器	建築機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,315	5,201	2,648	24,166	627	24,794	－	24,794
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	－	7	20	40	61	△61	－
計	16,329	5,201	2,656	24,187	668	24,855	△61	24,794
セグメント利益	1,637	270	131	2,040	28	2,068	－	2,068

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
２．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	軸受機器	構造機器	建築機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	18,459	4,708	2,955	26,123	554	26,677	－	26,677
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	－	1	14	43	57	△57	－
計	18,472	4,708	2,957	26,137	597	26,735	△57	26,677
セグメント利益	2,427	46	168	2,641	11	2,652	－	2,652

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
２．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

（自己株式の取得）

当社は、平成24年11月６日開催の取締役会において、会社法第165条第３項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

１．自己株式の取得を行う理由

株主利益の増進と資本効率の一層の向上を図るため

２．取得株式の種類

普通株式

３．取得株式の総数

1,000,000株（上限）

〔発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合3.39％〕

４．取得価額の総額

1,800百万円（上限）

５．取得期間

平成24年11月８日～平成25年２月28日

６．取得方法

信託方式による市場買付

４．補足情報

（１）受注及び販売の状況

当第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年９月30日）

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）
軸受機器	2,637	28.8	18,564	69.6	18,459	69.2	2,743	30.0
構造機器	5,453	59.6	4,636	17.4	4,708	17.6	5,382	58.8
建築機器	842	9.2	2,924	11.0	2,955	11.1	811	8.9
報告セグメント計	8,933	97.6	26,126	97.9	26,123	97.9	8,936	97.7
その他	219	2.4	547	2.1	554	2.1	212	2.3
合計	9,153	100.0	26,673	100.0	26,677	100.0	9,149	100.0

前第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年９月30日）

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）
軸受機器	3,306	35.3	16,165	67.4	16,315	65.8	3,156	36.9
構造機器	5,104	54.5	4,272	17.8	5,201	21.0	4,175	48.8
建築機器	676	7.2	2,934	12.2	2,648	10.7	961	11.2
報告セグメント計	9,087	97.1	23,372	97.4	24,166	97.5	8,293	96.9
その他	271	2.9	619	2.6	627	2.5	263	3.1
合計	9,358	100.0	23,992	100.0	24,794	100.0	8,557	100.0

前連結会計年度（自平成23年４月１日　至平成24年３月31日）

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）
軸受機器	3,306	35.3	34,203	66.1	34,872	67.1	2,637	28.8
構造機器	5,104	54.5	10,031	19.4	9,681	18.6	5,453	59.6
建築機器	676	7.2	6,268	12.1	6,102	11.7	842	9.2
報告セグメント計	9,087	97.1	50,503	97.5	50,656	97.5	8,933	97.6
その他	271	2.9	1,272	2.5	1,324	2.5	219	2.4
合計	9,358	100.0	51,775	100.0	51,981	100.0	9,153	100.0

（２）地域ごとの売上高

前第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）

（単位：百万円）

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
19,736	1,377	1,009	2,558	111	24,794

当第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年９月30日）

（単位：百万円）

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
19,834	2,355	857	3,488	142	26,677

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。